

聖母の小さな学校 通信

京都府教育委員会認定フリースクール
聖母の小さな学校
2025年
7月18日発行
1学期終業式号第289号

「不登校に出会った私の事実」を生きること！

厳しい暑さが続く中、本日終業式を迎えました。平素は、聖母の小さな学校の教育にご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。

1学期は67日開校し、3名の通学生と2名の相談生（主に家族への支援）が学びました。聖母での学びで生活が整って以来、動きやすい状態であったのに、4月からの高校という新しい局面に入り、それを生活の中に位置づけることが難しく、少し生活が崩れてしまった生徒、また、聖母に通うことを通して自分の生活や行動にメリハリを持たせ、自分の生活、自分の行動を作ろうとしている生徒と様々です。いずれにしてもこの事を通して更に自分に近づき、触れ、自分自身と親しくなることができるでしょう。

本校へ通い始めた生徒には、どうしても家族の助けが必要です。本校と力を合わせ、「聖母に行こう」という子どもの気持ちを受け止め、支えてください。この時が一番大変な時です。通う日が徐々に増え、安定することを目指してゆきたいものです。一方で、目指す「具体的な事」が見えるのは、救いです。「光」です。「光」を目指して一步一步、歩みましょう。どうぞ、安心して、この大変な時を聖母と共に乗り越えてゆきましょう。

家からなかなか出られない状態にあると、本人も家族も苦しいものがあります。どうぞ、今の状態を否定することなく、関わりを持ち続けてください。保護者が「今」見える「子どもの様子」を聖母で話されるだけでも、思いや考えを少し整理することができます。少し整理ができると、子どもの別の面も見えるようになります。少しずつ家族関係に変化が生まれます。この「変化」が大切です。共に力を合わせて一步一步歩みましょう。このように家からなかなか出にくい生徒を中心に1学期の教育活動を致しました。本校は不登校の中でも特に「家から出ることが難しい」生徒の教育に当たる場です。朝、起きにくい生徒には、希望があれば、プログラムを変えて、午後の登校にしてみることもします。

「できる」ことを目指すのではなく、「してみる」ことを大切に教育にあたります。そして、「してみる」を経て、生徒や保護者や原籍校と次のステップを想定してみます。その生徒独自の歩みを作ってゆきます。学校、教室、別室は遠くても、確実に自分自身のプロセスを歩みながら、到達します。

月1回開催している保護者会には、1学期間で延べ36名の参加がありました。その中で、「子どもを良く見る」という事が度々話題になりました。「良く見る」ことによって、「子どもが親の思うように動いてくれない」という見方から、「子どものこの行動には、こういう気持ちがあったのかもしれない」など、理解を広げていくことができたり、それを同じ立場の保護者と共有することによって、新たな気づきと、この子と共に生きていくのだ、という気持ちを強くされたようでした。

5月31日には、毎年恒例の五月祭（聖母ファミリーデー）を卒業生やその保護者、現役の生徒と保護者、教えてくださる先生、本校の協議会委員、支援者の方々を迎え、開催できました。60名以上の方々の集いになりました。集った人々の間には、「不登校に出会った生徒や家族が、そこから来る苦しさや理解されない辛さ、むなしさを受け止めて、信頼を失うことなく生きてゆかれる真摯さに対する深い感動」や「彼らの経験から学ぶことがたくさんあった！」という人間的な謙虚な考えが溢れていました。一般社会の風潮にみられる「不登校はいけないこと・改善しなければ・あなたの責任」というようなものではありませんでした。

卒業生や保護者達は、明るく「久しぶり！」の一言から始まって、世間一般の評価基準にさらされる

ことなく、子どもの様子、自分の思い、考えを楽しそうに話し、心の底からの笑い声と共に五月祭の準備をしておられました。「分かり合える存在としての自分」を感じ、生き生きとしておられる姿は「生きづらさのある社会」を変える力になると思いました。

また卒業生たちの事を、ある方がこう表現されました。「ここで生徒たちは『何かになるのではなく、自分になる』事を目指す教育を受けている。そして今、彼らは『これで間違っではないなかった』と思っている」と。確かに、この日、ある卒業生は「人との比較ではなく、人の思惑や評価に惑わされず、私は私として生きていきます」と述べました。

聖母の生徒は、毎月2回「ウズベキスタンの言葉と文化」を舞鶴市の国際交流員であるアシルベク先生から学んでいますが、五月祭でのウズベキスタン留学生たちとの交流をきっかけに、今度は卒業生たちが、ウズベキスタンの言葉、文化を学び、ウズベキスタンを訪問したいと、計画を立て始めました。1年がかりのものになりそうです。アシルベク先生のお国と貴重で意義深い交流ができることを楽しみにしています。

「第9回鯖街道を歩く」(6月28日(土))の行事も楽しく歩きました。暑い日でしたので、GOAL地点の名水「鵜の瀬の水」で喉を潤しました。歴史、文化、経済を学びながら視野を広げ、心地よい活動になりました。

今学期も多くの方々が聖母の小さな学校と共にあり、力になってくださいました。ありがとうございました。夏休み中も登校日を設けております。ご協力下さいますよう、お願い致します。

《夏休みの予定》

月日	曜	主な行事	月日	曜	主な行事
7/18	金	1学期終業式 (9:30~11:00)	9	土	
19	土	- 夏 休 み -	10	日	
20	日		11	月	山の日
21	月	海の日	12	火	
22	火	舞鶴市教育委員会「学校とフリースクールとの連携懇話会」	13	水	学校閉校日
23	水	登校日(平和学習)・学校との連絡会	14	木	
24	木	〃	15	金	
25	金	〃	16	土	
26	土	面談日	17	日	
27	日		18	月	
28	月	登校日(ウズベキスタン文化学習)	19	火	登校日(ウズベキスタン文化学習)
29	火		20	水	
30	水		21	木	
31	木		22	金	教員研修(長野)
8/1	金		23	土	〃
2	土	面談日	24	日	
3	日		25	月	登校日(ギター教室)
4	月		26	火	月例保護者会 18:30~
5	火		27	水	
6	水		28	木	2学期始業式 (9:30~11:00)
7	木	登校日(華道教室)	29	金	第1回卒業生ウズベキスタン講座
8	金		30	土	面談日